



とわだ

No. 80
6
2009

タマネギを植えてバラ焼きを食べよう

5月11日、「バラ焼きで十和田のまちを元気に」を合言葉に活動する十和田バラ焼きゼミナール（江渡信貴主宰・通称バラゼミ）が、十和田おいらせ農業協同組合と協力し、高清水小学校の全児童とタマネギの苗植えやバラ焼きの学習会を通して交流を深めました。

この活動は、バラ焼きの普及啓発と農産物の地産地消を目的にしたもので、会場となった同農業協同組合の農業技術センターには、児童と保護者が集まり、バラゼミの会員がバラ焼きについて説明。その後、小雨の降る中、同農業協同組合の畑にバラ焼きの材料となるタマネギの苗約8,000本を植えました。

作業後は焼きたてのバラ焼きや奥入瀬ガーリックポークのとん汁が振る舞われ、児童は口をそろえて「おいしい」と話していました。タマネギの収穫を迎える8月には、みんなでバラ焼きを食べようと胸を膨らませていました。



農業協同組合がタマネギの苗を提供。収穫までの管理も行います



バラ焼きの知名度アップに力を入れているバラゼミの畑中宏之副主宰



バラ焼きの魅力を語ったバラゼミの竹ヶ原拓美教授



焼きたてのバラ焼きに舌鼓



楽しいひとときを過ごした皆さん。ポーズを決めて記念写真